



◎ プログラミング教育

(1) 飯塚市とソフトバンクの協定

飯塚市は、プログラミング教育に係る教育環境の充実や、ロボットと共生する社会で活躍する人材の育成を目指し、ソフトバンクと教育分野での連携に関する協定を結びました。協定では、飯塚市は、ロボット「ペッパー」を市内全小中学に導入し、プログラミング教育の充実・人材育成を図るとしています。締結式で片峯市長は「プログラミング教育の充実はもちろん、学習、教育環境の総合的な整備が進むことを期待している。」と挨拶されました。

今回の締結により、穂波東校でも小学部・中学部1台ずつの「ペッパー」が配置されるようになりました。

(2) 穂波東校のプログラミング教育

現在、穂波東校では小学部高学年を対象にScratchを、中学部では経済産業省の「未来の教室実証事業」で開発されたMOZERを使って（MOZER開発の研究協力校として）プログラミング教育に取り組んでいます。いずれも、中学部技術科担当の切通主幹が中心となつての先進的な取組です。

Scratchはボックス型の言語を使い、画面の中のロボットを動かします。児童はバーチャル空間でロボットが思い通りに動くようにプログラミングに取り組みます。

MOZERはHTML・CSS（ボックス型より更に実際に使われている言語に近い言語）を使って、webデザインに取り組みます。

このような穂波東校が小中一貫教育として取り組んでいるプログラミング学習に、「ペッパー」配置の条件が加わることで、更なる充実を図ることが期待できます。

(3) 「ペッパー」の活用

「ペッパー」の活用の幅は広く、大きな可能性を秘めています。前述したようなプログラミング学習だけではなく、「ペッパー」の言語設定を変えることで英語学習でも活用することができます。この他には、徹底反復学習にも活用することができます。報道では、防災教育での活用が紹介されていました。

穂波東校にも「ペッパー」が配置されます。

先生方のお力で子どもたちの目が輝くような活用が展開されますことを期待しています。